

## 都道府県別指導体制状況(令和2年3月31日現在)

※GAPについて、高い水準で指導できると推定される指導員数(指導に必要な知識を習得するための研修を受講し、3件以上の指導実績がある者の数)

(単位:人)

都道府県	指導員数
北海道	109
青森県	120
岩手県	35
宮城県	8
秋田県	50
山形県	136
福島県	163
茨城県	176
栃木県	32
群馬県	10
埼玉県	65
千葉県	37
東京都	37
神奈川県	27
山梨県	12
長野県	99
静岡県	108
新潟県	61
富山県	78
石川県	67
福井県	153
岐阜県	124
愛知県	133
三重県	184
滋賀県	30
京都府	27
大阪府	17
兵庫県	73
奈良県	15
和歌山県	29
鳥取県	9
島根県	43
岡山県	5
広島県	4
山口県	12
徳島県	19
香川県	37
愛媛県	53
高知県	45
福岡県	120
佐賀県	48
長崎県	46
熊本県	49
大分県	78
宮崎県	110
鹿児島県	17
沖縄県	28
合計	2,938

出典：農林水産省生産局農業環境対策課調べ（都道府県から聞き取り）